

# 建設関連ニュース

## ●4月から業務で情報共有システム活用を原則化（国交省）

国土交通省は、4月1日以降に契約を結ぶ直轄事業の委託業務について、情報共有システム（ASP）の活用を原則化する。ASPには決済処理、掲示板、スケジュール管理、3Dビュー、書類管理などの機能が搭載されており、業務委託での原則化と合わせて、オンライン電子納品機能が運用される。受注者がASPを利用するために必要な費用は、すべて発注者が負担する。ASPを活用することで、書類の削減や事務作業の省力化、コミュニケーションの円滑化につながり、生産性の向上が期待できる。

## ●2023年度予算案を決定（政府）

12月23日、政府は、2023年度予算案を閣議決定した。国土交通省関係予算は国費ベースで6兆600億円を計上した。うち一般会計は、前年度当初と同水準の5兆8,714億円となり、公共事業関係費は前年度当初と同水準の5兆2,502億円を計上した。同水準ではあるが、国費総額は前年から206億円増額している。

## ●2023年度予算案の道開発事業費を公表（国交省）

12月23日、国土交通省北海道局は、2023年度予算案の北海道開発予算を公表した。一般公共事業費に当たる北海道開発事業費は、国費ベースで前年度当初と同水準の5,588億円を計上した。これに2022年度補正予算を合わせた、いわゆる16カ月予算としては7,100億円となり、見込まれる事業費ベースの予算額は9,000億円規模となる。当初予算におけるゼロ国債は、国費ベースで416億円を設定した。

## ●BIM/CIM直轄土木原則化適用後、範囲拡大へ（国交省）

1月19日、国土交通省はBIM/CIM推進委員会の第9回会合を開き、2023年度に直轄土木工事で原則化するBIM/CIMの適用範囲を、次年度以降段階的に拡大する方針を示した。当面は3Dモデルに不慣れな中小規模事業者に裾野を広げるためデータ活用のハードルを低く抑える。具体には視覚化による効果を中心とした、「出来上がり全体イメージの確認」、「特定部の確認（2次元図面の確認補助）」、「施工計画の検討補助」、「2次元図面への理解補助」、「現場作業員などへの説明」の5点を義務項目とする。次年度以降はより高度なデータ活用を迫り、生産性向上の効果をより引き出していくため、個別課題に応じてプロジェクトチームの下で検討、議論がまとまったものから義務項目や推奨項目として落とし込む。

## ●開発局、道建設部と北保証とが意見交換会を開催

12月22日、北海道建設部と北海道建設業信用保証（株）は、ホテルポールスター札幌にて意見交換会を開催し、2023・2024年度競争入札参加資格審査や、保証取扱状況といった建設業を取り巻く環境などについて意見を交わしたほか、SNSを活用した担い手確保支援の取組みなどについて情報提供をした。

また、1月23日、北海道開発局と北海道建設業信用保証（株）は、北海道建設会館にて意見交換会を開催した。北保証は2023年度で最終年度を迎える道内建設業担い手促成助成事業の取り組みを踏まえ、アンケートで要望を把握し、新しい事業を検討したいと述べた。

## ●2月末の道内建設業許可業者増加（開発局、道）

北海道開発局と北海道は、2023年2月末の道内建設業許可業者数をまとめた。知事・大臣許可の合計は1万9,417者で、前月から30者減となった。内訳は大臣許可が前月1者減の159者、知事許可が前月29者減の1万9,258者となっている。

## ●下請債権保全支援事業の延長決定（国交省）

1月31日、国土交通省は、下請建設企業等の経営及び雇用の安定、連鎖倒産の防止等を図る「下請債権保全支援事業」の事業期間を1年間延長した。2024年3月31日までに支払保証が開始され、又は買い取られた債権が対象となる。債権買取事業については、2022年12月1日から制度が拡充され、個別債権（手形等）の買取も対象となった。これまでの債権保全の役割に加え、期日前の債権の資金化により、下請建設企業等の資金繰り支援が可能となった。

Instagramのコーナーで紹介されていますが、今年初の試みとして道東三建青会主催のコンストラクション甲子園が開催されました。2月にはその決勝大会が帯広で行われ釧路高専のチームが初代の優勝を飾りました。この模様を会場で見ているのですが、中でもパスタを使ったタワーの製作と重量に耐える橋をつくる実技問題にチャレンジする参加者の真剣さが素晴らしかった。1mの高さを記録した北見北斗高校チームも凄かったのですが、パスタブリッジで7Kgに耐えた釧路高専の出来栄は圧巻です。パスタブリッジは「橋」というのはちょっとトリックで、実は、重量を支える構造物をパスタで作る、それが橋に見える、が本当の問題。発生する応力を出来るだけ全てのパスタに分散させ、均等に力がかかるような構造設計と歪みを作らない製作。それを高専女子が完璧にこなし断トツの記録を打ち立てます。180度の対角に目線を置き作業した故の完璧な橋梁です。甲子園そのものの感動でした。（H・S）